

# 血中ステロイドプロファイル 確認しませんか

## LC-MS/MSなら

- ✳️ 少量の検体から多項目を同時測定できます。
- ✳️ 特異性に優れており、偽陽性がありません。
- ✳️ 低濃度の精度・正確度が格段に優れています。

血清0.1 mLで25項目（Classical pathway + Back door pathway）  
プラス0.1 mLで最大31項目のステロイド測定が可能。  
エストロゲンはプラス0.2 mLで超高感度測定が可能

## ステロイドプロファイルの確認が推奨される疾患例

先天性リポイド過形成症、 $3\beta$ -水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症、 $21$ -水酸化酵素欠損症、 $11\beta$ -水酸化酵素欠損症、 $17\alpha$ -水酸化酵素欠損症、P450オキシドレダクターゼ欠損症、 $5\alpha$ -リダクターゼ欠損症、性分化疾患、思春期早発症、PCOS、副腎癌およびその疑いのある症例。

### 測定項目セット例

Classical pathway 16項目

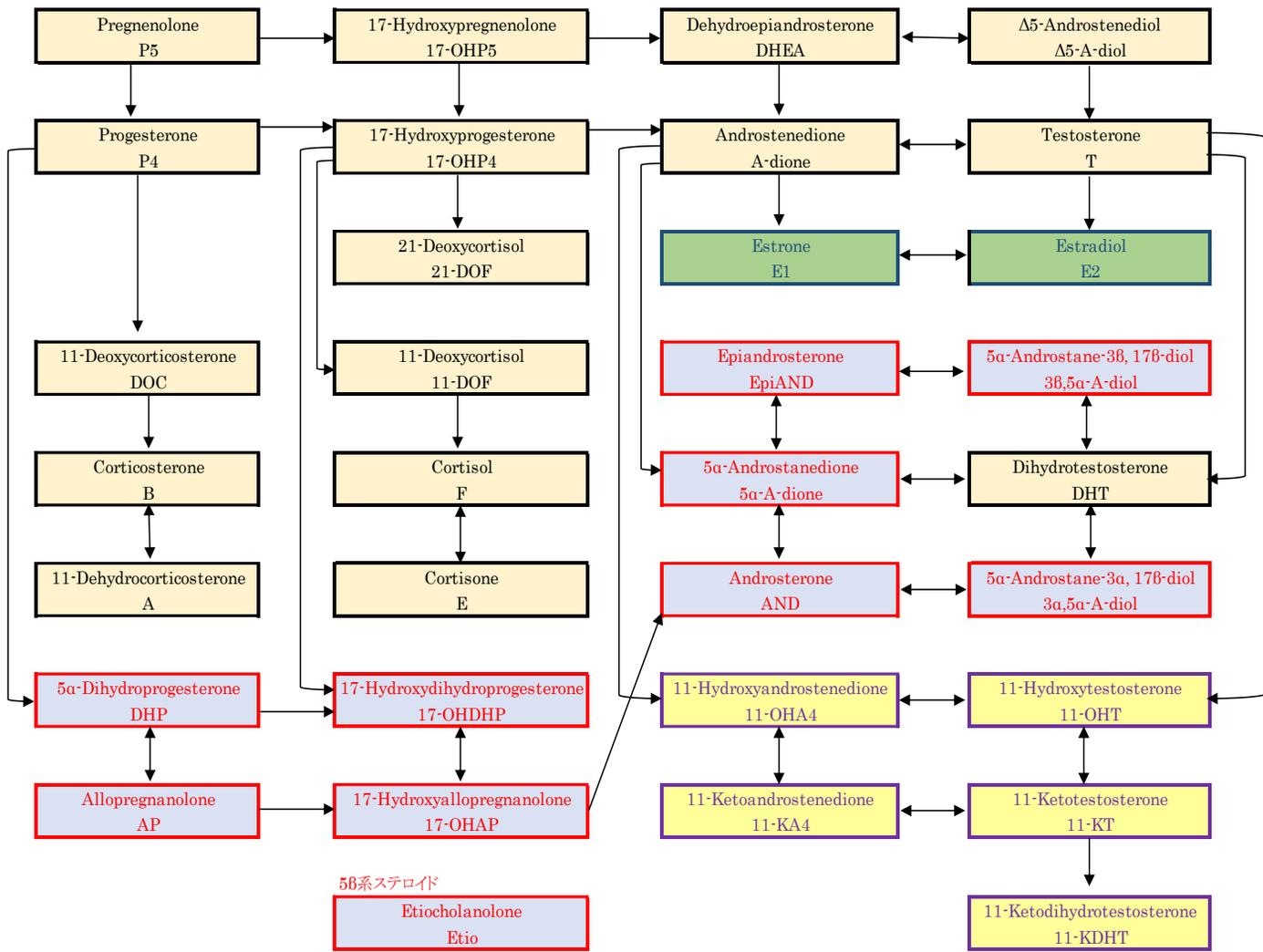
Classical pathway + Back door pathway 25項目

+ 11-Oxygenated  $C_{19}$  steroids 計 31項目

超高感度エストロゲンセット 2項目

# 測定可能なステロイド

監修：慶應義塾大学医学部 小児科学教室  
教授 長谷川 奉延 先生



- Classical pathway 16項目
- Back door pathway 関連 9項目
- 11-Oxygenated C19 steroids 関連 5項目
- 超高感度エストロゲン 2項目

(濃度の低い検体においては定量下限未満となる可能性があります)

 株式会社あすか製薬メディカル

お問い合わせ

受付時間：月～金曜日 9:00～17:35  
土日・祝祭日・年末年始等を除く

電話：0466-32-7218  
メール：kensa-med@ap-med.co.jp  
ホームページ：https://www.ap-med.co.jp/

2024年05月作成